

公開シンポジウム：「水辺のすこやかさ指標」の今後の展開への期待

2023 年水環境学会誌 2 月号においては「水辺のすこやかさ指標のこれまでとこれから」と題して特集号を刊行しました。この特集号では、水辺のすこやかさ指標の普及に向けた行政や本会各支部等のこれまでの取り組みを振り返るとともに、本指標の課題や今後の活用方法について述べました。本シンポジウムでは特集の成果を踏まえて、本指標の今後の展開についての議論を深めたいと思います。

主 催：日本水環境学会東北支部水辺のすこやかさ指標研究会、同学会関東支部、同学会九州沖縄支部

協 力：中央大学

協 賛：一般財団法人 水・地域イノベーション財団

日 時：2024 年 11 月 16 日（土）13:00～17:00

場 所：中央大学茗荷谷キャンパス 2F 中教室 教室番号 2E08

[04_MyogadaniCampus_BFmap_MAP.jp \(chuo-u.ac.jp\)](#)

開催形式：対面とオンラインのハイブリッド形式

（参加お申し込みの方に後ほどオンラインの接続先をメールでお知らせします。）

プログラム

- 開会挨拶 13:00～13:10 日本水環境学会関東支部長 西川 可穂子
- 《基調講演》 13:10～13:50
- ・ 13:10～13:30 『水辺のすこやかさ指標に関する環境省の取組』（仮題）
環境省 水・大気環境局 環境管理課 鈴木 清彦
 - ・ 13:30～13:50 『流域水環境管理における水辺のすこやかさ指標の活用について』
中央大学 古米 弘明
- 《第 1 部》 13:50～15:00 これまでの取り組みの紹介
- ・ 13:50～14:10 『九州地域での事例』
西日本工業大学 高見 徹
 - ・ 14:10～14:30 『干潟での事例 ～干潟版水環境健全性指標（WESI-TF）の開発と適用』
千葉工業大学 村上 和仁
 - ・ 14:30～14:50 『東京家政大学の事例 ～本指標を利用した河川教育に対する学習効果の検討』
東京家政大学 井上 宮雄
- ～休 憩～ 14:50～15:00
- 《第 2 部》 15:00～16:10 さらに普及へ向けて
- ・ 15:00～15:20 『市民活動における水辺のすこやかさ指標の新しい活用事例』
東北工業大学 矢野 篤男
 - ・ 15:20～15:40 『すこやかさ指標の調査から水循環を探る』
(株)日水コン 清水 康生
 - ・ 15:40～16:00 『健やかさ指標に新たに触れる市民の反応とその普及』
中央大学 西川 可穂子
- 《第 3 部》 16:00～16:50 ～総合討論～ 司会 東洋大学 大塚 佳臣
- 閉会挨拶 16:50～17:00 水環境学会東北支部水辺のすこやかさ指標研究会代表 矢野 篤男
- 参 加 どなたでも参加は自由です
- 参加費 無料
- 交流会 シンポジウム終了後に茗荷谷駅付近で開催を予定しています

申込先・お問い合わせ先：東北工業大学都市マネジメント学科 矢野 篤男

メール：yano-t@tohtech.ac.jp Tel：022-305-3961